

2018年12月7日

## 「脊椎脊髄損傷に関する後ろ向き研究」のお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] 香川県における脊椎脊髄損傷の受診調査

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属] 藤原龍史（香川大学医学部附属病院 整形外科 病院助教）

この研究は香川大学の単独研究であり、研究協力施設より情報の提供を受けて行います。

### [研究の目的]

脊髄損傷は、若年者の場合は交通事故などの大きなケガで受傷しますが、高齢者では転倒などの軽微なケガで受傷することが知られています。脊髄損傷はいったん受傷すると、損傷した脊髄を治す薬はまだ開発されていないため種々の後遺症を残します。したがって、脊髄損傷の発生を予防することが肝心になりますが、効果的な予防活動のためには脊髄損傷が発生する状況を調査しなくてはなりません。本研究では、香川県での脊髄損傷の発生状況を調査し、予防活動に役立てることを目的としています。

### [研究の方法]

#### ○対象となる患者さん

脊髄損傷を受傷した患者さんで、平成30年1月1日から平成33年12月31日の間に当院および、香川県内の整形外科医が勤務する第二次救急医療機関・第三次救急医療機関にて入院加療を要した方が対象となります。

#### ○利用する診療情報

診療情報：年齢、性別、診断、受傷原因、受傷場所、受傷時間、アルコールの関与、麻痺程度、急性期治療

### [外部からの検体・診療情報の提供]

利用する診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送及び電子システムを使用して、下記の参加施設より提供されます。

[情報提供元の研究機関]

回生病院、香川県立中央病院、さぬき市民病院、香川県済生会病院、坂出市立病院、小豆島中央病院、県立白鳥病院、高松市立みんなの病院、四国こどもとおとなの医療センター、高松赤十字病院、滝宮総合病院、高松平和病院、三豊総合病院、三豊市立永康病院、屋島総合病院、りつりん病院、香川労災病院

[研究代表者]

香川大学医学部附属病院 整形外科学 藤原龍史

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸1750-1

香川大学医学部附属病院整形外科 担当医師 藤原龍史

電話 087-891-2195 FAX 087-891-2196